

サイバー攻撃すぐ検知

三菱電機・神戸大 次世代工場向け

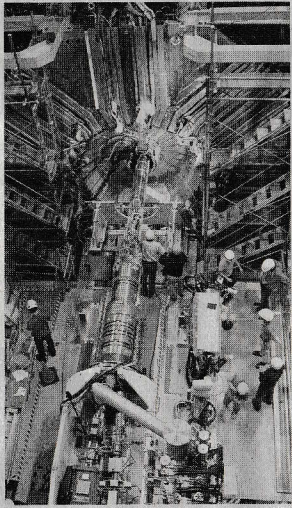
三菱電機と神戸大学の研究を受けてからつくられた注文を受けてからつくるシステムが普及すると考えられている。サイバー攻撃も巧妙化し、工場へのサイバー攻撃を素早く検知する技術を開発した。ロボットなどに命令する動き方の複雑な順番を予測。実際の命令と異なるば攻撃を受け改ざんされたとみならず。食品や医薬品、衣類、自動車などの生産現場で5〜10年後の実用化を目指す。

次世代の「つながる工場」は色や形、サイズが異なる多種多様な製品をインターネットなどによる注文を受けてからつくるシステムが普及すると考えられている。サイバー攻撃も巧妙化し、工場へのサイバー攻撃を素早く検知する技術を開発した。ロボットや自動搬送車などの動き方の順番を指示する複雑な製造命令の一部を改ざんして、不良品をつくらせる攻撃などが増えるとみられる。

研究チームは顧客からメーカーへの注文がそろった時点で各工場の細かな生産工程表を作成し、ロボットなどによる製造命令を出すか予測する仕組みを採用した。この命令と実際に出した命令を照らし合わせ、合致しなければサイバー攻撃で改ざんされたとみならず。工場にある数多くの製造設備のうち、特定の工程の組み合わせの時だけ不良品が出る事態にも対応できるようにした。多品種生産では使う設備が変動するため、攻撃や調整の不具合などで不調になった設備を突き止めるのが難しい。製造工程のルートごとの不良品発生率から、不調な設備を見極める仕組みを開発した。

新型の加速器 来春から観測

高エネ研



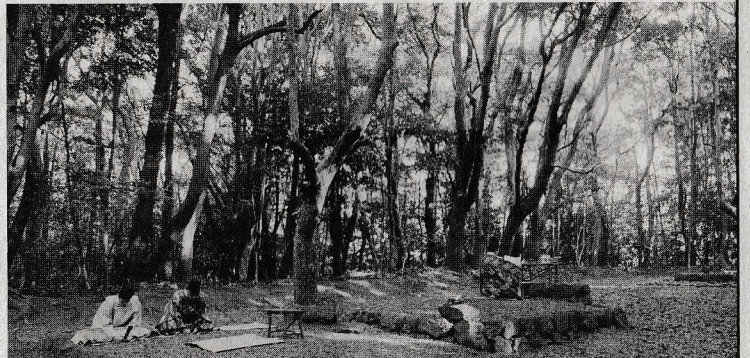
高エネルギー加速器研究機構は光速近くに加速した電子と陽電子を衝突させて宇宙誕生間もない状況を再現する新型加速器「スーパーKEKB(ケックビー)」で、2019年4月にも本格的な観測を始める。加速器に使う新測定器「ベル2」を導入する作業の写真がほぼ終わった。宇宙創生期に起きた物質誕生を解明し、ノーベル賞級の発見が期待される。

加速器は地下11層に設置した1周約3キロの円形の真空パイプの中で、電子と陽電子を逆方向に周回させてぶつけ、一部がB中間子と反B中間子という素粒子に変わるのを観測する。

ベル2は国際共同チームが開発した装置で内部に電子と陽電子の衝突点がある。B中間子が崩壊した場所を測る検出器は、直径30センチ、長さ90センチで1秒当たり5万枚の速度で撮影できるセンサーを備える。B中間子が崩壊し生成された粒子の動きを捉える。

目線で考える。

ノミの実装／自然・文化資源のインバウンド活用法



ナイトタイムエコノミーの実装、その課題と展望

プログラム

第1部
16:00~17:30



衆議院議員
環境副大臣
自民党
ナイトタイムエコノミー
議連事務局長
秋元 司氏



観光庁長官
田端 浩氏



ニューポート
法律事務所
齋藤 貴弘氏

<モデレーター>



タイムアウト東京代表

ますます
観をもつ
消費拡大
での取り
い関心を